

『より住みやすい立川市』 活動報告

私たちは、自分たちの住んでいる立川市を、「より住みやすいまちにしたい」、と思い、今年度の活動テーマに決めました。そしてより具体的に『ごみの問題』『ジェンダーレス・人の多様性』の二つのテーマに集約し、それぞれの視点から考えることにしました。

今年の子ども委員会は小学校4年生～高等学校3年生まで広く集まり、15名で活動を行いました。中学生の参加が近年になく多く、難しいテーマに挑戦できたと思います。また、新型コロナが5類になったことに伴い、4年ぶりに屋外での活動を行うことができました。

◇ごみの問題チームの活動

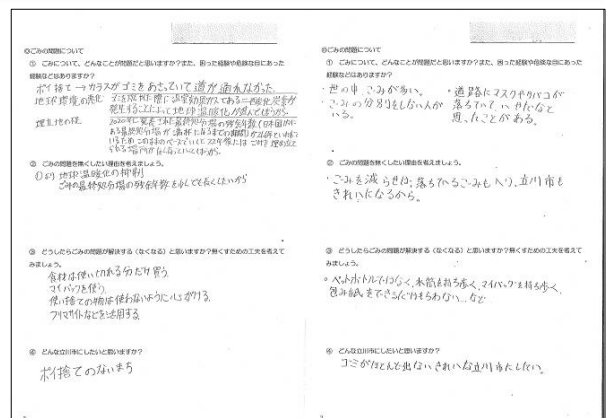
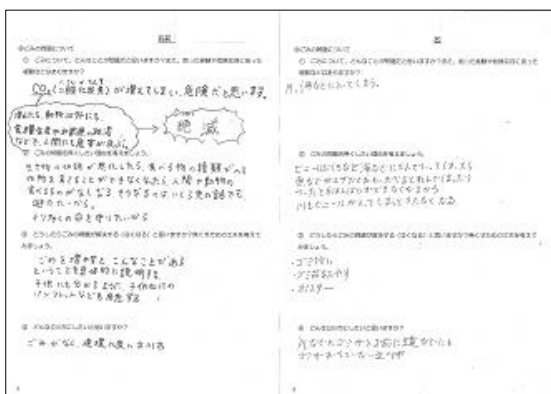
* 子ども委員で意見を出し合いました

- まちなか
街中にごみが落ちていたり、街が汚く見える。
- 目が不自由で白杖を持った人がつまずいてしまったと、話を聞いたことがある。
- どうしたらポイ捨てがなくなるか考えたい。
- 実際にどのくらいごみが落ちていたりか調べよう。

～実態調査～

①夏休み中に自宅近くのごみ捨てごみの調査を行いました。

- 植栽の中など隠れたところにたくさんごみがあった。
- たばこの吸い殻が一番多く落ちていた。



②立川市役所周辺のごみ調査を行いました。

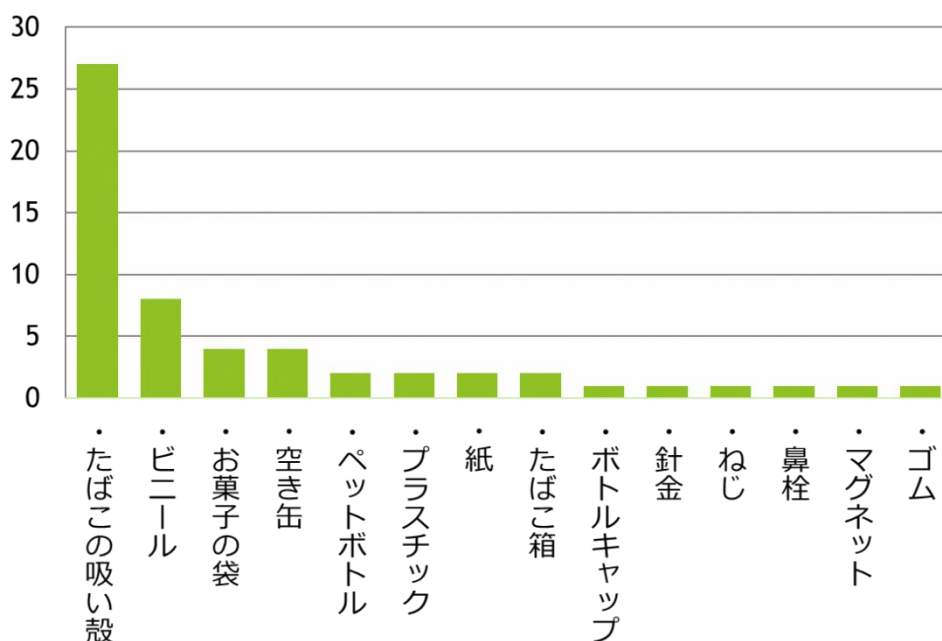
☆調査日時；令和5年9月10日（日）10：10～

場所；立川市役所周辺道路

方法；落ちているごみをチェックする
トング、使い捨て手袋着用



市役所周辺のごみの実態調査結果



- 近くにごみ箱がないのでポイ捨てされてしまうのでは？
- 地域の人でごみ拾い大会を開いてごみがどのくらいあるか理解して欲しい。
- できるだけ身近にごみを捨てられる箱や袋を持つ。
- だれかが清掃してくれると思っているから、ポイ捨てされるのでは？

どうしたらポイ捨てされなくなるのだろう？

▶▶▶ **ポイ捨てをなくすためのイベントをしよう！**

* イベントの内容 （企画書の作成）

1、ごみ拾い大会を開催・・・「立川ごみ拾い大会」

大人も子どもも楽しめるイベントにしたい。

⇒春休み中に昭和記念公園のサービスエリアなどで開催してはどうか。

2、クイズ大会の実施・・・「目指せ！ ^{はかせ}ごみ博士」

ごみ拾い大会の中で、ごみの問題について○×形式で出題

① 私たちが市役所の周りに落ちているごみの調査をして一番多かったものは“たばこ”である。 ○か×か。

② 燃やせるごみと燃やせないごみがある。ペットボトルは燃やせるごみである。 ○か×か。

など

◇ ジェンダーレス・人の多様性チームの活動

* 子ども委員で意見を出し合いました

- ランドセルの色や、制服のスカートやスラックスなど、もっと子どもの意見を聞いてほしい。
- 視覚障害者用の信号機などは、どのくらいあるのだろう？
- 髪型などの男女の区別について。
- みんなちがってみんないい。
→ 実際に活動しているひとから話を聞きたい。



*講師の方に話を聞きました

◇イケア・ジャパン株式会社 IKEA 立川

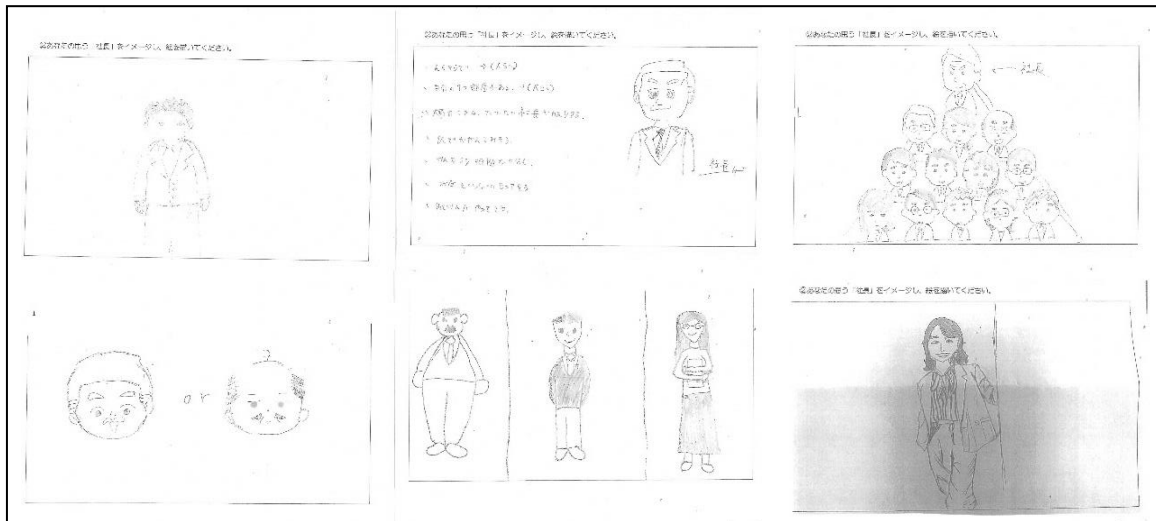


IKEA 立川の講師から子ども委員に事前に課題が出されました。

Q、社長の絵を描いてください。

子ども委員の友だちなど小学生～高校生世代までの人たちに絵を描いてもらいました。

※下に描いてもらった作品の一部を掲載



- “社長” といわれると、年配の男性をイメージする人が多い。
- IKEA の社長は女性。マネージャーやリーダーなども半数は女性。
- イケアで大切にされているイクオリティ（平等）について。
 - ➡ 背の高い人が高い所の作業を行い、力の強いひとが、重い荷物を運んだりする。男性、女性の性別にこだわらず、それぞれが得意なことを仕事に、助け合って作業していく。

☆イケアで売られているレインボーバッグは売上の一部が、LGBTQ をサポートする団体への寄付になっている。



◇NPO 法人 自立生活センター・立川

○障害を持った人が苦手なことや困ることなどについて

・車いすの人⇒苦手なのは階段。スロープは良いのだが、角度が急だと困る。

開けにくいドア、狭い通路。

・視覚障害者⇒道路の点字ブロックをたどって歩いて
いる時に、点字ブロックが途切れてしまう所があること。

・聴覚障害者⇒タイムセールなどの音による情報に気付くことができないこと。

・知的障害者⇒頭の中に浮かんだ言葉を口に出してしまうことがあること。

・精神的な障害者⇒ある日は元気、ある日はどんより、別人のようになってしまうこと。

・発達障害者⇒忘れ物が多くなってしまおう人が、忘れないように常に全部持ち歩くこと。



☆障害者でなくても高齢の人、怪我をしている人、乳幼児を連れている人などみんなが暮らしやすい立川市になって欲しい。

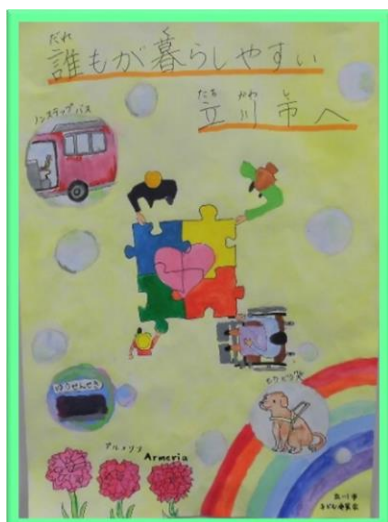
➡性別に関係なく、得意な人が不得意な人のカバーをすればいい。障害のある人も含めて、困りごとのある人に思いやりを持ち、寄り添い、行動できるようになりたい！

・キーホルダーはジグソーパズルの形にする。誰もが、得意なこと“凸”で他の人を補い、苦手なこと“凹”は他の人に助けてもらう。人とつながることをジグソーパズルの形で、表現したい。

・「同情・思いやり・共感」の花言葉を持ち、小さな花が集まって一つの花になっている、**アルメリア**の花を描いたものにしたい。

☆伝える手段としてポスターとキーホルダーを作成したい！

*ポスター



*キーホルダー



◇年間のまとめ

私たち子ども委員会は一年を通して「ごみの問題」や「ジェンダーレス・人の多様性」について、いろいろな人に話を聞いたり、実際に調査に出たりして活動してきました。小さい子どもから大人まで、障害のある人もない人も、誰もが安全で「より住みやすい立川市」にしてほしいです。そのために「ごみの問題」では作成した企画書を元にイベントを実施して、市民のみなさんがごみのポイ捨てについて考えるきっかけにしてほしいです。「ジェンダーレス・人の多様性」ではポスターやキーホルダーを作製しました。これらを活用して、障害や個性に対する差別、偏見をなくすことを目標に行動できたら、と望んでいます。

イベントの実施もグッズの商品化なども、立川市と包括連携協定している企業などを利用して実現させていただきたいと思います。

以上のことから、「より住みやすい立川市」への取り組みとして、立川市へ提案します。

立川市への提案

<ごみの問題について>

- ごみ拾い大会のイベントの企画、実施
- ごみのことを考えるクイズ大会のイベントの企画、実施

<ジェンダーレス・人の多様性について>

- ジェンダーレス・人の多様性について考えるキーホルダーの活用と配布
- ジェンダーレス・人の多様性について考えるポスターの掲示
- ◆双方とも、立川市と包括連携協定を結んでいる事業者の協力

《令和6年2月3日（土） 第59回青少年健全育成研究大会の様子》



酒井市長に提案書をお渡しました

立川市女性総合センターアイムホールにて

以上